

2004年8月6日

各位

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 村田 利文
(大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット
- 「ヘラクレス」証券コード番号:2321)
問い合わせ先: 取締役/CFO 山本 明彦
電話番号: 011-623-1001

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月12日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	400	30	25	25
今回修正予想(B)	160	195	210	210
増減額 (B-A)	240	225	235	235
増減率(%)	60.0	750.0	940.0	940.0
前期中間実績(平成15年9月中間期)	365	46	22	16

2. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	870	135	120	120
今回修正予想(B)	760	49	23	21
増減額 (B-A)	110	86	97	99
増減率(%)	12.6	63.7	80.8	82.5
前期実績(平成16年3月期)	744	116	69	92

3. 修正の理由

当第 1 四半期の売上高は、SIP マーケットの急速な進化に伴う当社マーケティング戦略の見直しと対応に遅れが出たことから、営業リソースが分散したこと、パートナー企業数増加に対応した営業リソースの増強に時間を要していること、一部受託案件の成約が第 2 四半期以降にずれ込んだこと等により、当初予想を大幅に下回る結果となっております。当社では、この結果を受けて、新たなマーケティング戦略の遂行による販売チャネルの整備拡充等、具体的な対応策に着手しておりますが、これらの成果が本格的な数字として表れるのは、下期以降になると想定されることから、これらの施策が予定通りの成果を上げた場合であっても、上期における落込み分をカバーするのは、非常に難しい状況にあると認識しております。

これらの状況に鑑み、中間期売上高、通期売上高につきましては、予想を下方修正(中間期増減率 60.0%、通期増減率 12.6%)いたします。また、各利益につきましても、経費全般に対する予算執行を厳格化することで削減に努めてまいります。売上高の減少分をカバーするには至らないものと想定されることから、中間期、通期とも予想を下方修正いたします。

(注)

上記の業績予想等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以 上
